

＜空の安全・安心を！整理解雇四要件を守れ！＞

2020. 8. 7

JAL闘争を支える京都の会News No. 67

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX : 075-531-3856 E-mail : komai123@kfa.biglobe.ne.jp

稲盛和夫は晩節を汚すな！

8. 4 京セラ美術館前抗議宣伝

「稲盛和夫（JAL 名誉顧問）は不当解雇を撤回せよ！」「JAL は 165 名をあの空に返せ！」・・・と、8 月 4 日午後、炎天下の京都市左京区岡崎の京都市京セラ美術館前で怒りのシュプレヒコールをあげた。



「JAL 闘争を支える京都の会」が呼びかけ、反原発闘争を闘う「若狭の原発を考える会」の市民の皆さん、京丹後の米軍Xバンドレーダー基地撤去を闘う仲間、憲法生かす京都の会や9条ネット・滋賀からの参加者、ユニオンネットワーク・京都に結集する労働組合の皆さんなどが、本年5月に新装なった京都市京セラ美術館前に集まっていただき、抗議の声をあげた。この場では、本年6月に続く2回目の行動。

今回はJALの争議団を代表し、CA原告団からも2人参加され、冒頭、9年7か月にわたる闘いの概要の説明と、この間の赤坂社長が争議団の統一要求、すなわち現職復帰と金銭解

決に対して「特別協議」を何度も積み重ねているにも関わらず、何らまともな実効ある回答をしないことへの怒りの経過報告と闘う決意が示された。

労組つぶしの弾圧と闘う連帯ユニオン関生支部からは、2年間にわたる不当勾留撤回闘争で仲間全員を奪還した報告を受け、「国鉄分割民営化に続く闘う労組つぶし攻撃が、JAL 165名の不当解雇攻撃だ。解雇撤回までともに闘う」との決意が披歴された。

若狭の原発を考える会の木原壮林さんからは、御巣鷹山のJALジャンボ機墜落事故は金属疲



労による機体損傷・切断が原因だと言われているが、40年越えの老朽原発も同種問題が様々発生してくる。9月6日に大阪で初の1万人超の老朽原発再稼働反対大集会を計画しているが、「儲けなくして安全なし」の稲盛イズムにともに対決し闘おうと発言された。同じく若狭の原発を考える会の橋田秀美さん、きょうとユニオンの服部恭子書記長からの力強い連帯発言を受けた。

美術館見学者やタクシードライバー、観光客も興味深くチラシを受け取り、私たちに質問される方もたくさんおられ、「今まで雇った人を一人も解雇してないが自慢のはずだった稲盛さん。米寿を迎えた稲盛元会長は、晩節汚さず、不当解雇を撤回して『さすが稲盛さん』と言われるようにすべきだ」との声が寄せられた。

